

ARIMATSU



東京オリンピックと有松
(昭和39年)



古文書
四四定(若い者鳴海夜遊法度ノ趣)

史料調査保存会

有松

昭和の
100年を
振り返る

第4回
発表会

日時

2025.

3/13(木) → 16(日)

【時間】10:00~16:00

【会場】棚橋家住宅

【入場】無料

アクセス

名鉄名古屋本線
「有松」駅下車
徒歩約5分



会場 棚橋家住宅



手廻しも器



竹田耕三コレクション 絞り着物

〈展示内容〉

- ◆ 昭和時代の絞り反物
- ◆ 竹田耕三コレクションより～昭和時代の絞り着物～
- ◆ 有松絞りに関する古文書
- ◆ 有松の絞商が所有していた掛軸
- ◆ 絞り道具あれこれ

詳しくは裏面をご覧ください。

- ◆ 有松の歴史年表
- ◆ 有松の想い出写真集
 - ・有松の昔と今を見比べる
 - ・昭和39年東京オリンピックと有松
 - ・金さん・銀さんと有松・鳴海絞 など
- ◆ 天皇御即位の年に発明された大典絞
 - ・見本生地、絞り方、絞り道具 など

SHOWA 100

昭和時代の絞り反物

調査保存活動及び発表会の活動を継続するために寄付金のご協力をお願いします。



主催：桜花学園観光総合研究所
豊明市栄町武侍48 TEL 0562-97-5503
後援：(一社)愛知県観光協会、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー

実施団体：有松史料調査保存会

展示内容

有松絞りを中心とした文化や、
伝統を今に伝える歴史。その歩みを発信。

有松の思い出写真集

- ◆ 有松の昔と今を見比べる
- ◆ 昭和39年東京オリンピックと有松
- ◆ 金さん・銀さんと有松・鳴海絞など

「昭和」は、四書五経の「百姓昭明、協和萬邦」が出典で、「国民の平和および世界各国の共存繁栄を願う」という意味が込められています。令和7年の今年には昭和として考えるとちょうど100年になります。最も長い元号となった昭和時代に有松にも数多くの出来事が起こりました。今回は大正の後期から平成の初めのころまでの生活や町の変貌を、「昭和100年」と銘打ってご紹介します。

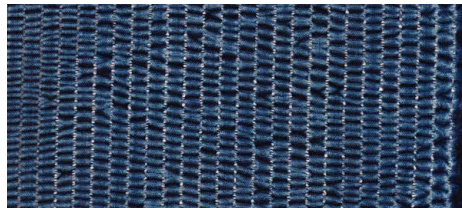


昭和御大典・献上品
▲有松は大正御大典に続き、昭和御大典のお祝いを献上しました。

天皇御即位の年に 発明された大典絞

- ◆ 見本生地、絞り方、絞り道具など

大正天皇の即位式の年に、小島末次郎が発明したもので、養老絞の技法を巧みに応用した絞で、特種な生地と簡単な糸締め器を使用しました。締め終わった生地は畳表のようになり、一反の生地が約1メートル位に縮み、染め上がった絞は、綿織の糸のように見えます。
(参照:有松志ぼり)



昭和時代の 絞り反物

有松絞り浴衣の製造元、株式会社近喜は2024年9月末をもって廃業しました。今回はその近喜の奥様が大切に保管されている絞り浴衣の反物をお借りしました。昭和10~20年頃に製造されたものです。その中でも鮮やかな模様の反物を展示します。

上記画像左から、
左:杣目絞、小帽子絞、大帽子絞、折縫絞
中:折縫絞 右:雁木杣目絞、折縫絞、小帽子絞

有松の歴史年表

江戸時代からの町並みが残る「有松」。400年の歴史を日本の出来事とともにタイムスリップ。

竹田耕三コレクションより ～昭和時代の絞り着物～

絞りの魅力を広く伝えた絞り研究・作家故竹田耕三氏が生涯こだわり続けた貴重な絞りを展示。

今回の作品はこれまでに古川美術館分館為三郎記念館などにおいて展示されたもので、氏の代表作の一部です。本物の絞り着物の最高傑作をご覧ください。特に深い藍の中に鮮やかに白字地を散らした「吹雪文様」は藍の美しさに改めて気づかされる作品です。



▲絹地吹雪文様帽子絞振袖 (イメージ)

▼本藍染松文様着物 (イメージ)



展示品の一例 ▲本藍染紬地菱文縫手筋絞着物 (イメージ)

有松絞りに関する古文書

有松では戦前から、絞商が中心となって町史の編纂が企画され、資料の収集が始められました。戦後、有松町史の編纂事業が始められたときに、こうした資料が活用され、後にその多くが有松絞技術保存振興会に引き継がれ、有松絞商工組合(有松・鳴海絞会館)に伝わっています。今回はその中から、有松絞りにまつわる3点の古文書を紹介します。

▲古文書 四四定 (若イ者鳴海遊法度ノ趣)

有松の絞商が 所有していた掛軸

有松の商家でも奥座敷や茶室に床の間があり、季節季節に軸が掛けられていました。有力な絞商には、古道具屋から持ち込まれ、買い求めたものも多かったと思われます。そうした掛軸の一部を展示いたします。



清溪幽居図 石河有頼▶

絞り道具あれこれ

絞りをするための道具は、技法ごとに異なります。先人たちは表現したい柄のため、かつ高品質で安定して量産ができるようにと考えて道具を開発してきました。古い貴重な道具をいくつか展示します。

▲卓上絞器 (大正～昭和)

◀嵐絞器 (模型)

保存会会員：伊藤陽子、加藤康之、神尾友恵、北川洋三、辻のぞみ、根尾文彦(桜花学園大学)、森一郎、山田修生、山本文雄

その他の 有松イベント情報

有松まちなみ美術館

- 日時：2025年3月14日(金)～16日(日)
10:00～17:00(入場締切/16:00)
- 会場：申申居、旧山田薬局、有松郵便局、ATSUMARI、川村家東蔵

春の有松さんぽ道～福よせ雛と町歩き～

- 期間：2025年2月22日(土)～3月23日(日)
- 会場：有松東海道一帯

※詳細は専用パンフレットでご確認ください。